

調査団報告書

No.161

調査内容

名古屋昆虫館というのがあったそうですが、今もありますか？

調査手順

昆虫の博物館かなあ、行ってみたい、とのこと。東山動植物園のホームページを見て、園内の施設ではないことを確認。名古屋昆虫館の発行物がないか検索してみると、『なごやの昆虫』という平成元(1989)年に発行された本を所蔵していた。序には、中日新聞の市民版に連載された「なごやの昆虫」をもとに、名古屋市制 100 周年事業として発行した本だと書いてある。この1冊だけ見つかったので、展覧会のパンフレットなどはないみたい…。5人の著者の著作を検索すると、名古屋昆虫館主任研究員岡田正哉さんの『昆虫ハンターカマキリのすべて』という面白そうな本を所蔵していた！しかし、昆虫館についての情報はない…。

『なごやの昆虫』によると、所在地は瑞穂区駒場町4丁目となっているので、住宅地図を調べると、平成元年版までは確かに名古屋昆虫館があった。電話帳を調べてみると、昭和 60(1985)年版のタウンページには文化施設としてのっていたけれど、1992年版にはもうのっていないだったので、なくなってしまったのかもしれない…。

インターネットで「名古屋昆虫館」を検索したら、「名古屋昆虫館の思い出」というエッセイがあるホームページを見つけたよ。それによると、昆虫館は瑞穂区の駒場町にオープンし、千種区の春里町に移転、再び瑞穂区の新瑞橋近くに移転したらしいことが書かれていた。昆虫館での岡田さんとの交流エピソードは、平成 23 年に追悼して書かれたもので、ほっこりするよ。

調査結果

名古屋昆虫館は、昆虫好きの人が集う施設として運営されていたけれど、今はなくなってしまったみたい。よいこの虫の会の「よい子の蟲だより」という発行物があるようだけれど、所蔵しておらず、国立国会図書館サーチで検索しても所蔵館はなさそうだった。残念だなあ。

今回の調査で使った資料

『なごやの昆虫』 白田明正/[ほか]編 名古屋昆虫館 1989

『昆虫ハンターカマキリのすべて』 岡田正哉/著 トンボ出版 2001

「名古屋昆虫館の思い出」(エッセイ):ジャングルに蝶を求めて HP より[2026年3月10日最終確認]

<https://www.spidasis-masaeae.com/エッセイ/名古屋昆虫館の思い出/>

